

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 223

令和7年11月1日発行

CONTENTS

8月臨時会・9月定例会

町長の所信表明に対する代表質問・・・・・・・・・・ p. 2

- ・“成長できるまち”の実現に向けて・問われる未来 選ばれる町の選択
- ・希望の新しいまちづくりを

予算の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・ p. 8

令和6年度各会計決算審査特別委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・ p.14

- ・人口減少の影響と対策
- ・農業・補聴器・非核平和を訴える
- ・安心して暮らせる町をめざして
- ・鳥獣管理保護法改正における対応



あそびのひろば 絵本の読み聞かせ（当別町子育て支援センター）

後藤町長2期目に向けての所信表明

9月9日に開かれた9月議会定例会本会議において、2期目となる後藤^{ごとう}正洋^{まさひろ}町長が所信表明を行い、施政方針を明らかにしました。

所信表明（要旨）

「子育て世代でにぎわう 安心してらせる町」を目指し、「成長できるまち」の実現に向けて、「8つの目標」に沿って取り組んでいく。

大学移転対策と経済基盤の維持

農業振興と6次産業化・地域循環の推進

子育て・教育環境の充実と
選ばれるまちづくり

高齢者に寄り添う健康福祉のまちづくり

物価高騰対策と
行政サービスのデジタル化

災害拠点となる新庁舎建設

観光振興と交流人口の拡大

多世代交流の促進・若返りで
元気なまちづくり

⇒ 所信表明に対する代表質問は次のページへ

これってどんな意味？議会用語集

代表質問

町長の「予算執行方針」「所信表明」に対して、それぞれの会派から1名が代表して質問を行うものです。

当別町では、3月定例会や町長改選後の定例会に代表質問の機会を設けています。

代表の議員は、事前に質問事項の通告を行い、持ち時間内でその通告の内容に沿って代表質問を行います。

かいはいは
会派…議会内で同じ政党や似たような目標を持つ議員が集まって形成するグループのこと

一般質問

議員が、町民の代表として、町が行う取り組みや問題点について、幅広く質問を行うものです。質問を通して町の考え方をチェックし、町民の思いを住民サービスに反映させるという大切な役割があります。

当別町では、年4回の定例会（3・6・9・12月）に一般質問の機会を設けています。

代表質問と同様、議員は通告の内容に沿って一般質問を行います。

⇒ 一般質問は14ページへ

代表質問

会派清流 やま だ あきら 山田 明 議員質問の
ねらい

“成長できるまち”の実現に向けて

町長は2期目の町政運営を担うにあたり、1期目に積み重ねてきた取り組みをベースとして、引き続き課題解決にあたるとともに、未来に種をまく各種施策に取り組むと述べた。「子育て世代でにぎわう 安心し

てくらせる町」を目指し、当別を応援するすべての方々と共に「成長できるまち」の実現に向け、8つの目標が掲げられた。この「成長できるまち」の実現に向け、具体的にどのような手法を考えているのか質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

「成長できるまち」の取り組みは

問

8月に開催したトウベツミライ Tobetsu Mirai Fesにおいて、町長は北海道バレー構想と町の役割や可能性をテーマに討論を行った。「成長できるまち」の実現に向け、具体的にどのような手法を考えているか。

答

現在の総合戦略の推進を基本としつつ、より効果的な助成制度の在り方の検討や、民間企業や教育機関との連携をさらに強化しGXやDX分野を軸とした人材育成環境の整備を進める。

ここが
聞きたい

子育て環境の充実の施策は

問

とうべつこども HIRARI計画策定にあたり意見を聞き取る中で、親子が室内で楽しめる場所への要望が多かったとのこと。この親子で楽しめる場所づくりについて、どのように進めていくのか。

答

現在のところ、施設機能、場所など具体的なものは定まっていない。民間事業者との連携も視野に入れつつ、道内外の施設を参考にして町の規模や立地条件も勘案しながら検討を進める。



“「北海道バレー構想」Rapidus(ラピダス)と当別町トークセッションの様子(Tobetsu Mirai Fesより)

ここが
聞きたい

新庁舎建設の建設手法は

問

新庁舎建設検討委員会より提出された提言書では、建設手法についてリース方式を第1候補とすべきとの見解が示された。会派清流としてもリース方式が最善と考えるが、町長の考えは。

答

リース方式は、費用負担の平準化、維持管理の効率化などの利点があるが、支援制度に制約がある。基本構想の検討では支援制度を含め、早期に庁舎建設が実現できる手法を検討する。

ここが
聞きたい

さらなる誘客を目指して

問

観光入り込み客数が過去最高を記録した要因をどう分析しているか。また、道の駅への更なる誘客に向けた今後の施策についてどのようなものと考えているか。

答

道の駅やロイズタウン工場の集客効果、観光協会と連携した情報発信などが要因と分析。道の駅への更なる誘客についてはtobeと連携し新商品開発や新たなイベントの開催などに取り組む考え。

ここが
聞きたい

当別ならではの観光ツアー

問

町内全域への波及効果を図る新たな観光施策として、当別町ならではの観光ツアーの商品化を目指すとしていたが、その後の進捗状況は。今後の具体的な考えを伺いたい。

答

観光協会では国や北海道の補助事業を活用し、伊達家の開拓をテーマにした、食や森林を体験できる新たなコンテンツを造成中。町も協会と連携し、誘客に向け共に努めていく。



動画はこちら

代表質問 会派緑風会 あきば しんいち 秋場 信一 議員

質問の
ねらい

問われる未来 選ばれる町の選択

所信表明では、医療大学移転による経済縮小の影響を抑えるため、「交流人口・関係人口」から移住定住へつなげる「選ばれるまち」を強調。観光振興や挑戦者支援、機会創出に加え、国の「ふるさと住民登録制度」

に関連する動きにも注目。他自治体では本制度開始前から関係人口の可視化や都市と町を往来するライフスタイル支援などが進んでいる。

「成長できるまち」を実現するため町としてどのように進めるのか問う。

ここが
聞きたい

成長できるまち どうつくる

問

大学移転に伴う経済縮小が懸念される。学生需要への依存を脱却し「交流・関係人口」を活用した新しい仕組みを含め、「成長できるまち」の実現に向けて、どのような施策を考えているのか。

答

総合戦略の各プロジェクト推進を基本とし、民間企業との連携強化やGX・DXを活用した人材育成環境の整備を通じて、「成長できるまち」の実現を目指していく。

ここが
聞きたい

誘致遅れは未来を逃す選択

問

今後、企業誘致は町の存続に関わる重要課題であり、半導体企業ラピダスを契機とした関連企業の誘致にも注目が集まっている。完成まで数年を残す今、町として何から取り組むべきかを問う。

答

スマート農林業や、研究開発拠点としての役割、企業や学校の誘致を検討。まずは国内外への魅力発信と、教育・研究機関や企業の連携強化により、認知度向上とネットワークの拡大を図る。

ここが
聞きたい

観光拡大で町の経済的力に

問

道の駅の来訪者が100万人を超える中、新たな観光コンテンツの支援や観光ゾーンへの誘導が重要。自然や観光施設の魅力を通して観光の広がりをつくるため、町の力をどう捉え考えているか。

答

町・観光協会・旅行会社の3者連携により、新たな観光コンテンツの造成に取り組んでおり、交流人口を移住・定住人口へつなげ、持続可能な地域づくりを進める。



当別町は札幌市から近く、来訪者も多い

ここが
聞きたい

子育て世代に選ばれる町は

問

少年の意見発表会にて「冬でも自由に過ごせる屋内施設」を求める声があった。近隣自治体の成功例から移住定住の後押しにもつながる取り組みで推進すべき。施設の具体像とその効果を問う。

答

親子が遊び、学び、保護者がくつろげる屋内施設の検討を進める。これにより、子育て世帯の満足度向上や交流人口の増加、移住・定住促進など「選ばれるまち」への貢献が期待される。

ここが
聞きたい

町独自の物価高騰対策は

問

物価高騰が町民に不安を与える中、国への支援要請も重要だが、町独自の対策を取ることも必要では。例えば町民を対象とした当別町産米の特別定価販売など、独自の対策を講じる考えはあるか。

答

現在の物価高騰は世界的な要因によるもので、町独自での対応は困難。国レベルでの要因解消に向けた対応が必要であると考え。引き続き、重点支援地方交付金の継続を国に要望していく。

代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

希望の新しいまちづくりを

医療大学移転後の人口減少に伴う経済的影響やまちづくりへの影響が懸念される一方、8月に開催されたTobetsu Mirai Fesでは多くの若者の姿や取り組みに触れ、若者の息吹を感じ、希望と期待を抱いている。

「当別町は子どもを大切にしている町」と町民だけでなく、町外の方も認識することが重要である。

いくつになっても誰もが安心して暮らせる「健康福祉の町」を目指しさらなる改善を求める。



動画はこちら



ここが
聞きたい

空き家バンク制度導入は

問

平成初期に建てられた家は築30～40年が経過。多くの自治体で実施している空き家バンク制度を導入する考えはあるか。

答

市場性の高い空き家は不動産業者を介して早期

に売却されるが、それ以外は建物の劣化などにより、空き家バンクに登録しても取引成立の可能性が低く、導入していない。町職員が個別具体的な対応をし昨年度以降7件を売却。住宅購入支援金制度に中古物件も対象とした。

ここが
聞きたい

親子で楽しめる場所を

問

「親子が室内で遊べる場所づくり」とは、現在ゆとろで行われている「あそびのひろば」の拡充か、それとも幅広い年齢層に対応した施設なのか。具体的な施設概要について伺いたい。

答

「あそびのひろば」のように未就学児や妊娠中の方を対象を限定するのではなく、親子が遊び学び、保護者がくつろげる安全な場を構想している。詳細は未定で道内外の施設を参考に検討を進める。

ここが
聞きたい

いくつになっても安心を

問

医療・介護・見守り・看取りの連携強化が求められる中、利用しやすい環境整備が重要。福祉DX推進とあったが、事業者間の情報共有や業務負担の軽減、人材不足への対応など、具体的な解決策は。

答

事業者間の情報共有では、健康状態などをリアルタイム共有できるICTツールを活用し負担軽減を図るほか、介護ロボット等の展示会を実施し導入検討の支援。業務効率化と環境整備に努める。

ここが
聞きたい

わかりやすい情報発信

問

町からの情報発信手段として、LINEは通知機能があり便利だが、情報の急さや内容のばらつきが課題である。発信方法や情報提供の手法など、先進自治体の事例を参考に進めてはいかか。

答

町では現在、広報紙で行事を告知し、開催が近づいたらLINEやX（旧：Twitter）で発信するなど工夫している。ただし、SNSの発信には誤情報拡散などの問題があり慎重に進めざるを得ない。

ここが
聞きたい

若い世代の地域活動参加

問

若い世代が地域活動に関心を持ち、主体的に参加できる仕組みづくりや取り組みとはどのようなものか。

答

Tobetsu Mirai Fesのような若者の思いを形に

できる場を町内に作ることで、地域活動への関心を高めるきっかけになると考える。今後、例えば高校生や大学生が町内活動で企画提案や運営に関わる場を設けるなど、地域とのつながりを深める取り組みに努めていく。



当別町
@town_tobetsu

X.com

【チャレンジ児童館を開設！】

期間限定で放課後にチャレンジ児童館を開設します。

場所: 旧当別小学校体育館

対象: 小学生～高校生

開設日時: 10/6(月)～10/17(金) 15時～17時 ※11(土)～13(月祝)を除く

活動内容: バスケットボール、バドミントン、ボードゲームなど
town.tobetsu.hokkaido.jp/soshiki/kosoda...

19:00・2025/09/29・247 回表示

イベントのお知らせは1～3週間前に投稿（町公式 X）